



遍路道「あずり越え」の整備でくいを打つ会員＝徳島市上八万町

遍路道「あずり越え」整備

NPO一歩会徳島市上八万町北山

NPO法人徳島共生塾一歩会が、徳島市上八万町から北山町にかけての山道で、遍路道「あずり越え」の整備をした。「四国八十八カ所霊場と遍路道」の世界遺産登録を目指す活動の一環。

会員ら7人が参加。山道の草を刈り、老朽化しているくいを打ち直してロープを張り替えたほか、順路を示す札を木に結ぶなど遍路道を歩きやすく整えた。

「あずり越え」は同市一宮町の13番札所・大日寺と小松島市田野町の18番札所・恩山寺をつなぐルートとして古くから利用されてきた。源平合戦で源義経の軍勢が屋島へ向かう際、越えるのに苦労したことから、阿波弁の「あずる」（難儀する）にちなんで付けられた名称という。

一歩会の谷口右也理事長（65）は「遍路文化を大切に思う一人一人の活動の先に世界遺産登録がある。散歩コースに使うなどして身近に感じてほしい」と話した。

（原田志保里）

第27907号 (日刊)

2021年(令和3年)
11月23日
火曜日

徳島新聞

発行所 徳島市中徳島町2丁目5番地2 (〒770-8572)
徳島新聞社
電話 (088) 655-7373
© 徳島新聞社 2021



勤労感謝の日